

さんぽみち



発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先
鵜の木特別出張所
3750-4241

新しい世紀を迎えがんばりましょう

鵜の木モンキーズ

監督 本橋 政昭

新しい世紀を迎え何が希望が湧いてくるようです。

昨年の秋に行われたスポーツ祭りでの綱引きは、今思い出しても手に汗が出てきます。チームの歴史も零から出発しメダルにとどくまで強くした山本監督、勝つために練習をし優勝した山本監督、今回の銀メダルと三人が同時期に大森第七中学校を卒業した同窓生というの不思議な気もします。正直なところ現チームでメダルを手にするのは、余程の頑張りがないと難しいと思われました。銀メダルを決めた順位戦は見ていた人に感動すら与えたものでした。交代する要員も無いなかで、心と体が綱に結ばれて引いたその綱は、練習に練習を重ねた成果が報いられたものと思います。

オリンピックで高橋尚子選手が金メダルを手にした後、「次も目標を高く持つて走ります。」と言ったその言葉も素晴らしいが、アトラクタ大会で有森選手の語った、「後になってもっと頑張れば良かったかと思いたくないから全力を出して走りたい」と、走れた自分を褒めてあげたい」と、自らを称えた姿が今回戦ったチームの諸君と重なりました。

私たちが青少年が新しい世紀に子供達へ伝えるのは、皆それぞれ素晴らしい力を持つているのだから、学びや好きなことに頑張ろうと、いっしょに行動する事でしょう。

綱引きも新しい時代に入りますが、共に応援しながら地域発展に努力したいと思います。



キャプテン 小林 健二

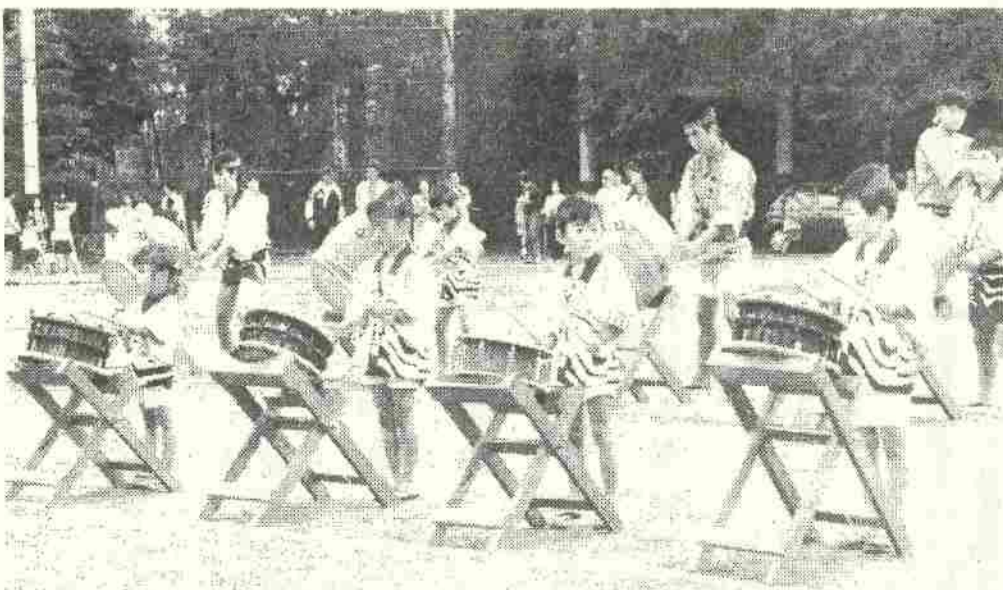
我々鵜の木モンキーズは、昨年の区民スポーツまつり、綱引き大会最後の十七回大会で堂々二位の銀メダルを獲得しました。これもひとえに地域の皆様、そして家族の応援のお陰と思っております。私が鵜の木モンキーズに入ったのは長男が三歳のときでしたが、その長男も中学二年になり、この間多くの人々に支えられ、又、素晴らしい人との出会いが大変良い勉強になりました。今年から大会はクラブチームでの参加となりますので、我々モンキーズは男女ともチーム名を変え、男子は「東京WTC」女子は「ワイワイレディー東京」として頑張っていきます。長い間応援、有難うございました。

多摩川鵜の木太鼓子供連

世話人 米山 眞子

平成元年鵜の木二丁目町会の文化活動の一つとして発足して以来、町会や太鼓を支援する会の方々に支えられています。

鵜の木地区連合運動会や地域の祭礼、老人ホーム等の出演で活躍中です。二歳から小学生というメンバー構成の中、言葉はまだ通じなくとも、スツキリ音頭の曲がかかると反応する子供。「右手はどっちだっけ？」と考えている子供にバチの持ち方を長い目を持って指導して下さる先生。日本の伝統芸能に触れることが出来、なんて幸せなこと・・・と大人が思うほど子供たちの意識は高尚なものであります。楽しくリズムをききむ稽古を続けるうちに、そこから何か強い力が生まれてくることを感じることが出来ます。



わがまちあの人この人

さんぽみち十年をふりかえって

南久が原二丁目 池田 進太郎

平成三年四月地域情報紙を創刊、編集委員一同試行を繰返しながらの懸命な努力も、楽しい思い出となりました。一面記事の掲載の中で大森第七中学生による路傍に咲く可憐なタンポポの研究発表に感銘をおぼえております。わがまち有名人の紹介も初代コロムビアローズさんに始まり活躍いただいた方に登場をお願いしております。平成今昔ものがたりも皆さんにとって大変参考になる記事であったと思えます。ご存知でしょうか。鶺鴒の木特別出張所が昭和三十九年まで鶺鴒の不八幡神社境内にあつて暮らしてに係る事務を扱つておりました。町会マップ（現さんぽみち）のコーナーを水野委員が孤軍奮闘してありますが、皆さんご利用していただけたでしょうか。リレーエッセイは管内七町会交替で執筆をお願いしておりますが、それぞれに特徴があり興味深く感じられます。俳句短歌も季節感あふれ心の糧となつていてと思います。これからも地域の皆さんと共にあゆみ続けていきたいと願っております。

私が選んだ「鶺鴒の木八景」

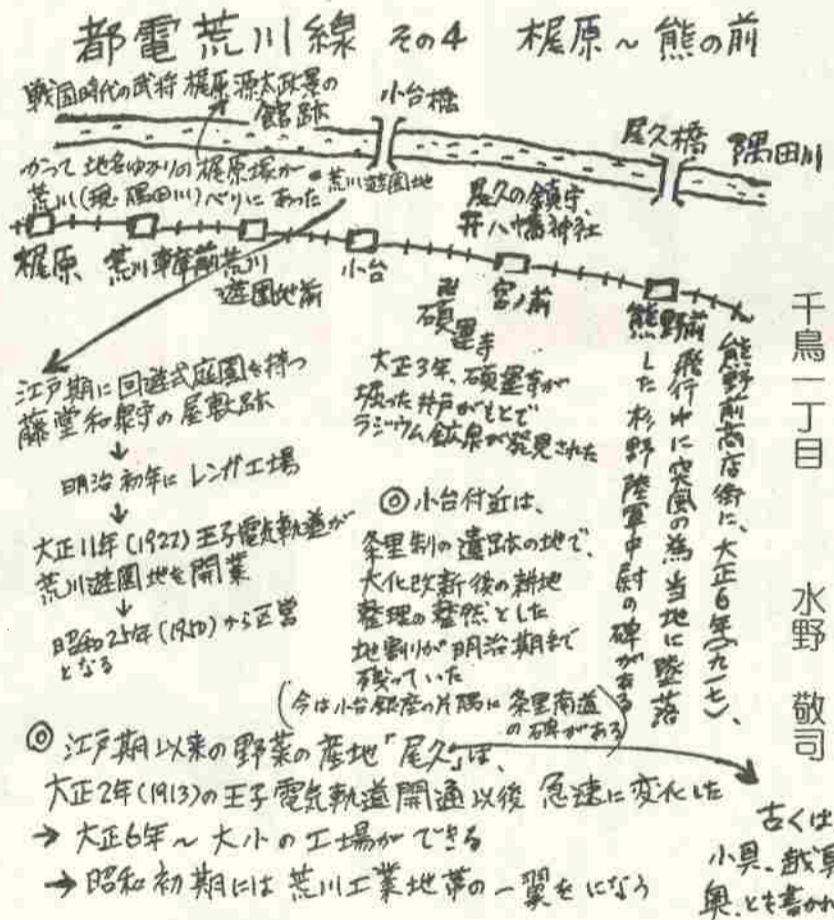


鶺鴒の木一丁目 清水 郁雄

大森から鶺鴒の木に移り住んではや五十七年、そこで近江八景にあやかつて鶺鴒の木八景を選んで再発見してみました。一番目に我が家の庭から眺める富士山、正直言つて一年にたった五日くらいしか見えるチャンスはありません。次に増明院の桜、これは見事なもので散歩のたびに楽しんでます。三番目は鶺鴒の木八幡境内、お社のただずまいも一新されて荘厳な雰囲気になりました。四番目として松山の林、桜の時期も楽しめます。しかし公園になる計画だそうではこのまんまが好きなんです。五番目は鶺鴒の木旧家の茅葺の門、昔乗馬して通つていた名残があります。六番目は六郷用水道路の東屋のある付近、これも桜の名所で多摩川まで散歩道が整備されています。七番目は東京高校の前の土手から見る多摩川朝六時大勢の皆さんの体操風景が見られます。八番目は光明寺の山門、銀杏とりにはよく行きました。以上全部私の独占と偏見にもとづくもので、探せばまだまだ素敵な場所があるに違いありません。

さんぽしてみませんか

千鳥一丁目 水野 敬司



リレーエッセイ

千鳥一丁目 川上 智由

町の中で車椅子で生活している方々をよく見かけます。その方々のお話を聞いてみると、買い物一つするにも大変障害が多いそうです。

道路は段差が多く、歩道は狭く、お店に入る時も大変だと言われます。東急多摩川線の各駅は階段の横をスロープにして、構内踏切りを廃止しました。雪が谷大塚駅はエレベーターを設置しました。しかしながら私たちの町にある千鳥町駅は階段だらけで嫌われております。昭和三十年代に富士山が見える駅にするため、署名運動をして東急に造らせました。

時代は急速に変化し、町民はバリアフリーの駅にして欲しいと願っており、健康者、高齢者や障害者も同一の生活が出来る優しい町造りが求められています。

千鳥町駅の改造には現都知事の石原慎太郎さんや故新井将敬さんも頑張つて頂きましたが実現にいたりませんでした。これから私たちは町を挙げてこの課題に取り組み決意しております。ご支援よろしくお願い致します。

俳句

南久が原二丁目 小原 青文

神宮の杜の賑はひ初詣
柏手の杜に響きて初詣

七福神巡りに妻とつれだちて
職退きて年毎に減る賀状かな



編集後記

皆様お元気で二十一世紀をお迎えのこととおよろこび申し上げます。第十七回区民スポーツまつり綱引大会鶺鴒の木チームの準優勝おめでとう。東調布第三小学校体育館での毎週火曜日、金曜日の練習の成果でした。青少年部、青年部の皆さんの暖かいお手伝いありがとうございます。

編集長 池田 進太郎

鶺鴒の木特別出張所管内	
人	男 10,590名
	女 11,023名
口	計 21,613名
世帯数	10,525世帯
平成12年12月1日現在	